

インドネシア語専攻2年生対象の課題

担当教員:青山 亨

配布日:2013年12月16日(月)

提出日:課題1、課題2ともに来年最初の授業時間(2014年1月20日、月曜3限)に提出してください。

注意:来週12月24日(火)(月曜日振替授業日)の授業は出張のため休講とします。

課題1(12月24日休講の代わり)

- 講演会「東南アジア文学の魅力と翻訳—インドネシアのベストセラー小説『虹の少年たち』の訳者にきく—」に参加して得た知見(単なる知識、情報だけにとどまらず、「気づき」を含む)を踏まえて(しかし、それに限定されることなく)、インドネシア語の文章を日本語の文章に翻訳する場合に、どのような点に留意すべきか、あなた自身の考えを述べてください。抽象的な議論ではなく、具体的な事例を踏まえて論じること。A4判レポート用紙2ページにまとめて提出してください。

課題2(冬休みの課題翻訳)

- URLで示されたインドネシア語の文章を日本語に訳してください。A4判の用紙にまとめて提出してください。
- 出典:Heddy Shri Ahimsa-Putra. Paradigma Ilmu Sosial-Budaya: Sebuah Pandangan (社会文化研究における「パラダイム」:ある一つの見解)。公開講演 Paradigma Penelitian Ilmu-ilmu Humaniora (Universitas Pendidikan Indonesia, di Bandung, 7 Desember 2009)で発表された論文。URL:
http://file.upi.edu/Direktori/FPBS/JUR._PEND._BHS._DAN_SASTRA_INDONESIA/197911162008012-AFI_FADLILAH/MHand_out_Met.Pen.Ling_Paradigma_Penelitian_Ilmu_Humaniora.pdf (アクセス2013年12月15日)
- 注意:この文章は、かなり難解な学術的文章です。「パラダイム」という用語が理解できていない人は、まず日本語で人文学の分野での「パラダイム」の用法について解説を調べてから訳に取り組むことをお勧めします。